

## 「新第5次振興計画素案」に係る地域説明会における質疑概要

日時	H23. 1. 21 19 : 30~21 : 00
会場	柴橋地区公民館
出席者数	18名
質疑の内容<◇質問者、○副市長、●総合政策課長>	
<p><b>【柴橋地区の開発、平塩橋の整備、簡易な農地集積】</b></p> <p>◇ 今般のワークショップで話し合われたことの説明があったが、具体的には高速道路に関連した柴橋地区の開発、中でも道路整備、平塩橋の架替えが挙げられている。また、新たにクアパーク西側の開発や散策道路を造るということも要望として挙げた。観光開発については、西村山地区一帯の観光を高速道路と合わせて実施して欲しいということが話し合われている。農業施策については、柴橋地区の前田代を除いた10アール区画整理ということで、規模拡大がなかなか進まない実情がある。10アールの水路に合わせた簡易な農地集積を取り上げる必要があるのではないかという話をした経過がある。1つ10アールの区画を30アール、40アール区画にして規模拡大を図っていくような事業を進めて欲しい。以上のような事業がどこに盛り込まれているのか、具体的に話し合いがなされたのか、特にクアパーク西側の開発と柴橋地域の発展をどのように進めていくのか伺いたい。</p> <p>● 振興計画への反映としては、西村山地区一体となった観光開発を盛り込んでいる。高速道路と関連させたクアパーク西側の開発については、区画整理事業がほなみ団地で苦戦しているということもあり、この5年間では盛り込んでいない。振興審議会委員からは、大きく広げていくよりも逆に市街地にコンパクトにまとめていく町づくりを進めていくべきだとの意見も出されている。簡易な農地集積についてもこの計画の中では、特に盛り込んではいない状況である。</p> <p>◇ ワークショップで話し合われたことが、全然反映されていない。地域性を考えて欲しい。この計画には到底納得できない。</p> <p>○ 先程、課長から説明があったことについて、2点ほど補足したい。クアパーク西側の宅地開発については、経済活動が好転しつつある中で、宅地の需要が出てくることも想定される。振興計画では住環境整備を盛り込んでいることから、全体的な流れの中で読み取って欲しい。また、農地集積については、大規模耕作、小規模耕作の二つの階層に分化しつつあることから、中間層を集約した形で進めていくことを考えている。区画整理事業として直ぐには入れないが、機能的で耕作し易い田んぼにしていかなければならない流れの中にあることを踏まえ、農業振興を進めていくつもりでいる。</p> <p>◇ 完全な圃場整備では、莫大な経費がかかることになるが、簡易な農地集積を進め、田んぼに入り易く、農作業し易くすることが環境整備ではないか。クアパーク西側の開発の件であるが、民間活用により進めることが柴橋地区</p>	

の提案であった。農振除外により民間業者が開発をし易くすることでも良いのではないか。

- 10アールの田んぼを30アールにするような大規模な圃場整備については、具体的に実施計画で取り上げ、事業を進めていく方向であります。宅地開発での農振除外については、国営事業の受益地であることから制限がある。これまでのように、市や開発公社で進める大規模な開発ではなく、市側としては開発を要する地区に市道を通すなどして、民間の参入による分譲などで街づくりを進めていくことを考えている。
- ◇ 平塩橋は夢も希望もないのか。今後、2年位の間でお願いしたい。
- 昨年、県への要望の際に、直接、知事に伝えているが難しいとの回答であった。今後も諦めずに要望して参りたい。
- ◇ 農地集積圃場整備の関係での要望であるが、今の農業従事者は殆どが60歳代である。続きの田んぼを耕作できれば良いのだが、飛び飛びであることから効率的でない。これから事業を進めるにあたっては、市単独事業でも県補助事業でも構わないが、事業を実施するという方向性を持ってもらいたい。宅地開発の関係は、宅地造成すれば必ず人口が増えるという経過がある。社会情勢が厳しい中ではあるが、常にそういう目を持って進めてもらいたい。

#### 【デマンド交通】

- ◇ デマンド交通の実施方法について伺いたい。
- デマンド交通とは事前に予約、利用登録して、予約をした方の乗り合いで目的地に行くイメージである。最近、どこの市町村でも多くなっており、ジャンボタクシーのような大きさの車両を運行している。路線バスのようなものは難しいため、予約制として、目的地も市内の何箇所かとし、自宅の近くから乗車して目的地に向かうことを考えており、来年度、実験を実施して参りたい。この実施にあたっては、運輸支局や山交バス等の関係者からなる組織を立ち上げ、地域公共交通会議を開催する必要がある。路線バスとの競合が発生しないよう山交バスとの調整が必ず必要となる。時間帯や便数、コース等どのような形で運行すれば良いのか、地区の要望もあると思うので、会議の中で議論しながら実験を進めて参りたい。実験で良い結果が得られれば、本格運行に移行していきたいというイメージで振興計画に盛り込んでいる。

#### 【買い物難民対策】

- ◇ デマンド交通も必要であるが、一人暮らし高齢者からは、冬期間、買い物に行けないと言う話が出ている。南陽市や上山市では、生活協同組合でバスを走らせこちらの方に来てもらっている。このようなことも必要になってくるのではないか。そういう所の考えも取り入れてもらいたい。
- 特に、この大雪で高齢者の日常生活が非常に不便になっている。区長から話があったように生活協同組合では、買い物用の車を走らせる試みが行われ

ている。注文をもらい、近くのスーパーが配達をすることもやっている。寒河江ならではの方式を検討しているところである。今の時代に合った地域見守り体制をもう一度構築し、同時並行的に進んでいる地域福祉計画の中にも盛り込んで参りたい。

#### 【振興計画の検討状況】

- ◇ 行政側と区の実情に差はないのか。ワークショップを経て各地域の要望をまとめ上げたことは素晴らしい。ただ優等生の出来である。新たに数値目標を掲げて、市民目線で評価していこうとする試みは素晴らしい改善である。本日の会合での意見が、振興計画に盛り込まれる見込みがあるのか、もうこれで完成なのか伺いたい。
- 現在のところは素案であり、次回2月9日の振興審議会で答申案を作成することになる。市内4地区での説明会での提言を受けて、追加すべきものは追加することになる。また、パブリックコメントにより、市民より広くご意見等をいただき、振興審議会で取り挙げ協議し、最終的な答申案としていく考えである。

#### 【振興計画の目玉施策】

- ◇ 税金は本当に市民のために使われているのだろうか。振興計画の目玉と言えるものが無く、ただ単に事業の羅列に過ぎない。この間の知事ミーティングでは猿の公園を造ったらどうか等の意見が出されていたが、この振興計画には新たな発想が網羅されていない。宅地造成よりも人を集める何かを考えて欲しい。
- 私共も新たな発想を意識してやっており、これまでは無かった重点プロジェクトなるものを掲げてまとめ上げている。7つのプロジェクトには、市民が夢弾むものを載せることができなかつたので、今後なお検討して参りたい。

#### 【ワンディレスポンス運動、工業団地へのアクセス】

- ◇ ワンディレスポンス運動とはどういうものなのか教えていただきたい。  
工業団地とインターチェンジのアクセスも重要だとの説明があつたが、寒河江インターなのか、スマートインターなのか、あるいは両方を指しているのか。平塩橋の交通は危険な状態である。中学生の通学路になっているという認識をどの位持っているのか。また、柴橋・長生園間の道路も同様に中学生の通学路になっている。柴橋からは徒歩通学であるが、木の沢方面から来る生徒は自転車で通行するため、危険性を感じているので改善いただきたい。
- ワンディレスポンス運動とは、市職員の行動の事であり、市民の皆さんから問い合わせを受けた場合、その日の内に何らかの回答を返すことである。インターとのアクセス道路については、主として、スマートインターを指している。平塩橋の危険度は十分に認識しており、新しくしたいという思いは皆

さんと一緒である。架け替えにあたっては市予算の10分の1程度以上の建設費がかかると見込まれるので、市単独ではなかなか進められない状況であり、県に強く要望しております。柴橋・長生園間の道路についての改良計画は無いが、柴橋の東側を通り工業団地に抜ける道路である内回り環状線の一部の計画がありますので促進して参りたい。